

新 生

令和元年九月十日印刷
令和元年九月二十日発行

新生第七十一巻第三号



東北新生園入所者自治会

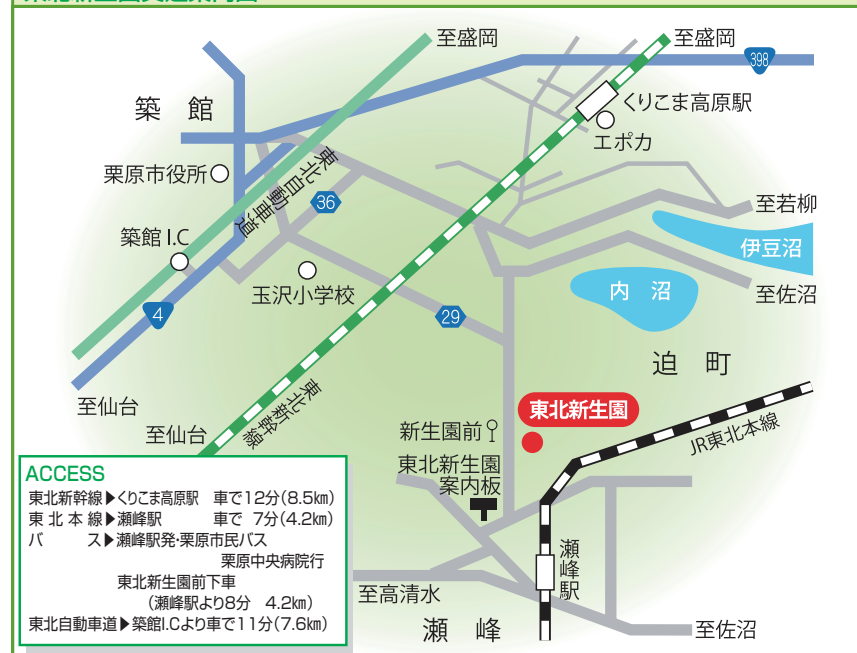
新 生

令和元年九月十日印刷
令和元年九月二十日発行

東北新生園の概況

所在地	宮城県登米市迫町新田字上葉ノ木沢1番地
土地面積	351,291㎡
建物延面積	25,280㎡
開 園	昭和14年10月27日
医療法承認病床	244床
標榜診療科	内科、外科、皮膚科、眼科、耳鼻いんこう科、歯科
現在入所者数	男22名 女35名 計57名
職員定員数	152名（平成31年4月1日現在）
園 長	医学博士 横 田 隆

東北新生園交通案内図



第七十一巻第三号

— 令和元年7月4日 —

平成三十一年四月～令和元年六月

《四月》
十一日 観桜会行事（抽選会）

《五月》
二十一日 春季バス旅行（塩釜方面）

《六月》
第二十七日 第三十六回高松宮記念杯
近隣親善GB大会

平成三十一年四月～令和元年六月

多磨	東京	多磨	全生園
菊池野	熊本県	菊池恵楓園	
楓	岡山県	邑久光明園	
高原	群馬県	栗生楽泉園	
愛生	岡山県	長島愛生園	
青松	香川県	大島青松園	
始良野	鹿児島県	星塚敬愛園	
甲田の裾	青森県	松丘保養園	
日本ハンセン病学会雑誌第八十七卷三号	東京都	国立ハンセン病資料館	

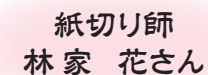
令和元年9月10日 印刷
令和元年9月20日 発行

東北新生園楓会(自治会)
 楓会文化部
 川内印刷株式会社

989-4601

宮城県登米市迫町新田字上葉ノ木沢一

東北新生園 電話 0228 (38) 2121(代)
東北新生園入所者自治会 電話 0228 (38) 3600





新生・第七十一巻第三号……………目次

表紙…「夏の風景（園内全景）」

回想……………	庶務班長……………	松本宣仁……………	(2)
転任のご挨拶……………	会計班長……………	三橋守人……………	(5)
ご挨拶……………	一般職員……………	大平尚拓……………	(8)
よろしくお願いいたします……………	副臨床検査技師長……………	畠山力三……………	(10)

|| 新生文芸 ||

詩……………	選者……………	佐々木洋一……………	(13)
短歌……………	選者……………	皆川二郎……………	(15)
俳句……………	選者……………	山田桃晃……………	(17)
川柳……………	選者……………	栗石隆子……………	(19)
着任のご挨拶……………	副総看護師長……………	古川喜美子……………	(22)
宜しくお願いします……………	看護師長……………	寺嶋美由貴……………	(25)
はじめまして……………	看護師……………	佐々木清子……………	(26)
四コマ漫画……………	……………	北村小蝶……………	(28)
園内日誌・謝寄贈図書……………	……………	……………	……………

回想

庶務班長 松本宣仁

「お久しぶりです！」と高速道路の築館インターチェンジ出口のETCを通過した時に車には自分しか乗っていませんでしたが、思わず声に出してしまいました。なんか変な感じがしましたが…。

私は平成十四年四月から平成十七年三月まで福祉室医事係長として新生園にお世話になりました。数えると十四年ぶりです。そう十四年前に築館インターチェンジ入口を通過し、新生園ともお別れで、と頭を下げてちよつと涙ぐんで高速道路に乗った記憶が蘇ってきました。ろくにお世話になった方々にもお別れの挨拶もせずに出て行ったかもしれない。また何かの機会に来るでしょうと思っています。

した。でもそういう機会に恵まれないのか、もう新生園とは関係なくなつて来づらくなつてしまったのか、分かりませんが、それから十四年新生園に来ることはありませんでした。それから数回異動がありました。どこへ行ってもずっと心残りとなっていました。皆さん元気かな？と思つて、所用等で高速道路を運転し、築館を通過する度に気になりました。たが。高速降りれば良いのにと何回思つたのか分かりません。でも、忘れられていたらなあという気持ちがあり、降りられず十四年が経ちました。いつの日か、もう忘れられているでしょう、もう、と自分に言い聞かせて。

そして今年の春新生園への赴任となりました。期待と不安というよりも、不安と不安でした。

さて、新生園の話は人づてに聞いておりましたが、実際自分の目で見るまでは想像もつきませんでした。新生園までの道のりは、昔のままという感じで車の運転席から外を眺め

て、土地勘を養いながら、いざ新生園正門から入ると、工事の現場が目に入り、奥には立派な建物「うーん」と昔の面影と言いますか、自分が覚えていた風景とはちよつと？違うなあと思ひながら本館の建物周辺を見渡しました。職員の方々とお会いすると、知っている顔が沢山いらして、なんか安心しました。

四月は、本館中心に動いており、昔の福祉室があつた場所まではしばらく行けませんでしたが、そんな日が続きましたが、何か機会があつてさくらホール方面に行きました。立派な建物、綺麗な公園と昔何があつたかを思い出した。難しい綺麗な風景でした。折角来たのだからと、周辺を見て歩こうと思ひ、まず、さくらホールの周りをぐるりと周り、今も残っている北斗寮を目印に昔の風景を一生懸命思い出そうとしました。それでもそんなにはつきりとは思ひ出せずにいましたので、昔の福祉室からいつも見ていた風景を頼りに睦が池の方向に歩いて行きました。中央集会所、浴場、

湖畔寮とそして睦が池ともう十数年見ていなかった景色が、つい最近来かのように思い出してきました。池の向こう側に新生会館と福祉会館とこの場所から見風景は変わっていないと安心した気持ちになりました。

その後当直業務で見回りがあり、一般寮の方向にも行く機会が出来ました。どうなっているのだろうと思ひ葉ノ木沢分校を見ながら歩き、一般寮方面を見ました「あれ？」と思ひわず声が出たような感じがします。いくつか一般寮が残っていました。見通しが良くなつたと言ひますが、知つていた一般寮の建物がなくなつていました。歩けば歩くほど覚えていた風景ではないのが分かりました。正直寂しさがいっぱいでした。昔は一般寮の周りを歩けば、誰か入所者の方々にお会いして、一言二言必ずお話をしながら歩いていた記憶がありました。今はずっと無言のまま橋を渡り終え、振り返り「ふう」とため息が出る感じになりました。でも、時代の流れだから仕

方がないのかなと自分に言い聞かせながら、十数年ぶりの一般寮周辺を見て歩きました。

そして、歩き終わって見たら、昨日の事のように、以前の記憶が戻ってきた感じになり、また来たのだなと実感し、今後とも宜しくお願いしますと睦が池に向かいお辞儀をしました。

最後になりますが、これから入所者の皆様笑顔で生活なされるように何かのお役にたてればと思います。改めて宜しくお願いします。



転任のご挨拶

会計班長 三橋 守人

この度、四月一日付で国立病院機構宮城病院から転任して参りました、会計班長の三橋守人でございます。転任にあたり雑文を寄せることになりました。宜しくお願い致します。私自身は松丘保養園での勤務が長く、三回ほど勤務しております。長いばかりで、さほど精通しているわけでもなく、また、不慣れた土地での勤務ということで、ご迷惑をおかけすることも多々あると思いますが、お許しただければと思います。

前任地の宮城病院は、未だ震災の傷は癒えず、特に山元町では震災発生前の人口から四分の一ほどの人口の減少があり、未だもがき苦しんでいるといった状態です。役場の新築

を始め、徐々にではありますが、復興の槌音が響き始めていますが、「もの」の復興は進んでも、「ところ」の荒廃は未だ癒やされずといった印象を受けました。

山元町の海岸沿いの荒涼とした光景からは想像もできませんが、かつて、そこにも不幸は別としても、様々な人々の生活がありました。それが一つの災害で、跡形もなく消えてしまいました。

愛する家族を失った方、終の棲家を失った方、生活の糧を失った方、様々な形での「不幸」が押し寄せ、そしてすべてを持ち去ってしまいました。いつもと変わらない日常が、実はかけがえのない宝物であったのです。

「幸福な家庭は似たように幸福であるが、不幸な家庭はそれぞれに不幸である。」とは、トルストイの「アンナ・カレーニナ」に出てくる一節ですが、ハンセン病療養所もまた様々な「不幸」を背負った施設であります。入所者の方の思いも千差万別であろうと思い

ます。

その存在が限らない「憎悪」の対象でありながらも、長年暮らした第二の故郷としての「愛着」。その矛盾した愛憎半ばした思いというものが、各療養所に流れる通奏低音のようなものだと思います。

私自身が戒めに行っている言葉があります。

何も考えていない人が使う言葉というのが二つあって、「頑張る」と「寄り添う」だそうです。この二つを連発する人、特に政治家は、絶対信用してはならないそうです。

何を「頑張る」のか、どう「寄り添う」のかが問題なのであって、空虚な「やる気」、偽善的な「寄り添い」を痛烈に批判したものです。こう言われてしまうと、私などは萎縮してしまい、何年経つても疑心暗鬼です。

よかれと思ってやったことが、裏目に出るのが世の中です。よかれと思うこと自体が、おごり高ぶりであるという古人の言葉もあります。

「仮定の医学」という言葉があります。

保健同人社で有名な類似本が出ている本のタイトルではありません。新薬や新検査、新治療法が出ると、仮定を盲信し、争うように群がり、数十年経つと、「あの当時は今では考えられない治療をしていた。」という状況を揶揄して生まれた隠語です。

後から見れば、流行に踊らされているだけのように見えますが、不治の病とされてきた病気に、頑張って寄り添った結果とも言えなくはないのです。

私が言うのもおこがましいことですが、ハンセン病の歴史もまた、「仮定の医学」に翻弄されてきました。未知の感染症だった時期、「先進国」入りの為に優生思想に洗脳された時期、戦中戦後の混乱期、予算獲得のため、ことさら脅威を喧伝した時期、あらゆる不幸が積み重なり、プロミンの国産化、リファンピシンの普及など、軌道修正の機会は何度もあったにもかかわらず、果たされることはあ

りませんでした。

一部の例外はあるにせよ、弱者を守るための医療者、教育者、宗教者、そして最後のセーフティネットであるべき行政が、ことハンセン病問題に関しては全く機能しなかったどころか、差別の先頭に立ってきたところにハンセン病問題の根源があります。

過去の政策を糾弾することはたやすいことです。しかし、当時の状況を顧みることなく「昔はひどかったよね」では、また同じ過ちが繰り返されるような気がしてなりません。

入所者の将来は、基本法により自決権が保障されてはありますが、その理念が生かされるかどうかは、職員が具現者としての意識を持てるかどうかにかかっております。

これまでにハンセン病療養所勤務を重ねてまいりましたが、入所者が穏やかな時を過ごされるよう、微力ながら貢献させていたきたいと思います。



ご挨拶

一般職員 大平 尚 拓

この度、山形病院から転勤してきました大平と申します。採用は仙台医療センターで五年間勤務し、山形では途中お休みを頂きながら一年勤務してこちらに参りました。こちらに来ての生活はなかなかまだ不慣れな所ですが、皆様よくしてくださって助けてもらっています。

ハンセンの療養所はTVなどで報道されたりしているのは見てましたが、実際に関わるのは今回の異動が初めてです。実際に来てみると今は施設や設備も綺麗にされており、入所者の方も柔らかい方々でした。先日は建物の裏手で彼岸花の苗を植えられている方がいて咲くのが楽しみです。ただ、はじめに受け

た説明やしんせい資料館にあるように、ここに至るまでは長い差別や迫害の歴史があり、家族や親類から引き離されての暮らしは、大変に苦しかったということを忘れないようにしたいです。

こちらに来ての一番大きな変化としては車を購入したことです。今までは自転車で生活していたのですが、今回の転勤を機に一念発起して車を手に入れました。十年近くぶりに運転する車は緊張し、スピード感の違いになれるまで時間がかかりました。はじめは園内の道路で練習して、幾分慣れたらスーパーへ買い物に行きました。後ろに車がついたりするとあせりもしますが、路肩に寄せて先に行ってもらうなどして対処しています。やはり車が使えると早く出かけることが出来ます。まだ遠くまではなかなか行っていないませんが、運転出来ると行動範囲も広がるので、こつこつと乗っていくようにしたいと思います。ただ交通事故も日々報道されているように発生

しており、動く凶器を使っているのだという意識で注意しながら運転していきたいです。

休日は官舎で過ごしたり実家に戻るなどして休んでいます。つい心地よい気温に誘われて布団でうとうとし、ほとんど寝て過ごしてしまうこともあります。ごろんと横になるとつい気持ちよく眠ってしまいます。夢の中だと荒唐無稽な出来事が色々起こり、起きると忘れてしまいますが、それもちよつとした楽しみです。あまり寝て過ごしてばかりももったいないので、もう少し活動を増やしたいなとも思います。周囲を散策するのもよさそうです。

子供の頃から本が好きでよく読んでいたのですが、仕事を始めてからは忙しくなかなか読めない生活を過ごしてしまいました。読む体力もそれに伴って落ちてしまっています。が、それでもたまに読むと楽しかったりします。読むのは小説から歴史や科学の一般向けまでを主に読んでいました。また本にたくさ

ん触れる生活を始めていきたいなと思います。新生園は桜が綺麗に植わっており、春先にはあちこちに咲いた桜がとても綺麗で思わず写真に収めたりしました。よく晴れた日に園内を一周すると桜をはじめとした樹木、草木があり、ツクシが伸びているのやミツバチが花の蜜を集めているのにも目をほころばせました。今は梅雨となり窓辺に出てくる羽虫の数々に悩まされていますが、先日車のタイヤをえいやと親指ほどの小さな力エルがよじ登っており、それもまた風情を感じられ自然豊かな土地であると思います。歩く先をバツタが跳ねたりも。まだ東北新生園に来て三か月ですが、これからの季節の変化を楽しめればと思います。

よろしくお願いいたします

副臨床検査技師長 畠山カヨ

四月一日付けで東北新生園勤務になりました畠山と申します。どうぞよろしくお願いいたします。出身は宮城県仙台市です。

現在は住宅地や大型スーパーが建ち並びにぎやかですが、昔は田んぼや野原が広がるのんびりとした環境でした。小学校の帰り道は楽しみがいっぱいでした。力エルやバッタ、ザリガニを捕まえたり、上棟式の餅播きで餅を拾ったりしながら帰ったのを憶えています。中、高、技師学校、就職先も仙台（仙台医療センター）で一度も宮城県を出ることなく生活していました。その後、弘前病院、宮城病院を経て現在に至ります。

ここで転勤先でのことをご紹介したいと思

います。初めての転勤は弘前病院です。弘前といえば：春はなんといっても桜です。弘前城から岩木山を背景に見る桜は絶景です。桜の剪定はリンゴの木の剪定を応用して行っているそうで、老木でも見事な花を咲かせています。花びらが散りお濠一面を覆う花筏も見所の一つです。

夏はねぶた祭りです。祭りが近づくと夕暮れ時には笛の音や太鼓の音があちらこちらから聞こえてきます。祭り本番はヤーヤ・ドーの掛け声に合わせて扇型や金魚の形をしたねぶたが市内を練り歩き、その光景は迫力満点です。この祭りが終わると今年の夏も終わるか、とちよつと寂しい気分になったものです。弘前はねぶたですが、お隣の青森はねぶた、五所川原は立ちねぶたという地域によって形も様々ですが、掛け声も様々です。

秋は紅葉の季節。弘前藩のお殿様が全国各地から集めたもみじを植えた庭園や、岩木山、白神山地の紅葉は春の桜に負けないくらい奇

麗です。秋はあつという間に終わってしまい、冬は雪。毎日毎日雪が降り、真っ白な銀世界が広がります。演歌の歌詞に「津軽には七つの雪が降るのさ」という歌詞がありますが、まさにその通りです。太平洋側の冬とは大違いで太陽の光が恋しくてしょうがありませんでした。この長い冬を経験してみても春を待ち遠しく感じる気持ちが強くなり、桜が咲いた時の喜びはそれまで感じたことのないくらいでした。津軽を題材にした演歌を聴くと当時の生活を思い出し、心に沁みる、といった感じです。また、温泉も沢山あり色々な泉質を楽しむことができます。

そして、果物といえば美味しいりんご。品種は沢山あり、宮城県にいた時には、ふじや王林といった品種しか知らなかったのですが、世界一、とき、ぐんま名月など、いろいろな品種のりんごがあり、色も形も味も様々です。私はぐんま名月が好きでした。

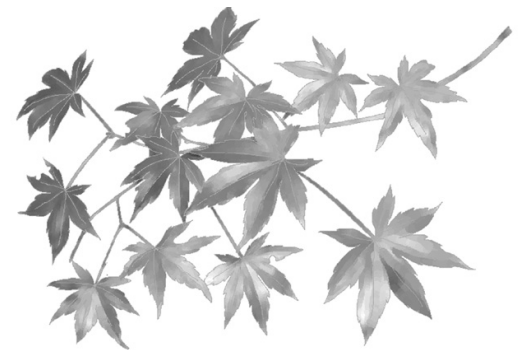


五所川原 立倭武多



次の転勤先は宮城病院でした。宮城県の県南、山元町にあります。宮城県出身なのに転勤するまで知らなかったのですが、地元では東北の湘南と言われているそうです。イチゴとホッキ飯とはらこ飯が有名で、季節になると飲食店は大賑わいです。病院周辺にはイチゴ農園のビニールハウスがあり、夜に灯りがつくると幻想的な風景が広がります。

新生園勤務も三か月を過ぎました。入所者の皆様とは検診の際にお会いする機会があり、温かいお言葉をかけていただいたことが心に残っています。まだまだ慣れないことが多くご迷惑をおかけすることがあるかと思ひますがどうぞよろしくお願いいたします。



新生文芸

詩

佐々木 洋 一 選

◇ 入 選 ◇

《冬の雨》

今 野 きよし

昨夜から
降り出した
冬の雨
立春すぎて
暦の上で
春なのに

例年にない
大雪のため
野も山も
真白で
睦ヶ池に
氷が張って
雨は音なく
静かに降って
どこ見ても
雪野原

物干竿に
雨の雫が
垂れている
小降りになった
冬の雨
Nさんゆっくり

出て行った
一句拾いに
どこまで行くの
雨もどうやら
晴れて来た

◇ 佳 作 ◇
《スパイク》

園 永 泊

【選 評】

《冬の雨》

今 野 きよし

一連目から四連目までは冬の雨の様子が描かれていますが、終連で突然Nさんが出てきます。これが入ったことで、この作品は息を吹き返したように思います。雨の中、一句を拾いにいくNさんの姿が鮮明。作者の心にもほんの少しあたたかさが戻ってきたようで、ホッとした様子が窺えます。余韻を感じる作品。

かけるかける
スパイクにおどる
朝日が追いかける

うことですので続けられることを
心から応援いたします。

短 歌

皆 川 二 郎 選

今 野 きよし
今日一首明日また一首と励みたしもの忘
れのくせ日々募れば

◇ 入 選 ◇

今 野 きよし

もの忘れなきよう今日も歌を詠む心に
決めて数も増えたり

【選 評】

誰もが年齢とともにもの忘れが多くなり、そのことを時には自覚することがあります。短歌や俳句を日々に詠んでいることは、脳の老化防止に役立つのではないかと思います。作歌の数も増えたとい

【選 評】

前の作品も物忘れを自覚されている作者がありますが、そのことにめげずに日々の努力を怠らない真摯な姿勢に心打たれます。限られた生活の中であつても人間は何か感動して生きています。日々を振り返り作歌の継続をしましう。

今 野 きよし
元朝に貴方の訪問うれしくて短歌三首
を詠みて記しぬ

【選評】

元旦の日に作者を訪問された人に対する素直な喜びが感じられ、鑑賞している者にもその喜びが伝わってきます。短歌は、素直な感動をリズムよく三十一文字に表現する短詩形の文字ですので、この一首の喜びを学んでいきたい。次に内容の違う三首を佳作として選んだ。

◇ 佳 作 ◇

今 野 きよし

病棟を帰る時間の早く来て看護師さんに準備依頼す
あれこれと時の過ぎゆき早くなり用事減らして静かに居たい
おむつ替えてしっくりしなき日もあれど普通に受ける吾となりたし



俳 句

山 田 桃 晃 選

◇ 入 選 ◇

今 野 きよし

句を作りあなたを送る君主蘭

【選評】

蘭の種類は多く葉は細くて四方に広がり一茎一花で香りに気品がある。

句を作りと頭にどかんと据え「あなた」を送る「を送る」胸がしめつけられる思い、四君子と言う彼との出会いかもしれない。

【選評】

やせあばら労るごとく盆の風 斎 藤 照 雄

もうすぐ盆ですね、昔は僧が檀家をまわって盆棚に誦経をする習わしがあった、人それぞれに生きる身盆の風に労られたは御先祖様に力をやせあばらに励ましのすず風である。

今 野 きよし

母役を一手に背追い百合の花

【選評】

母役にもいろいろの役があり家事一般子育て等を始め、生きる為には共稼ぎも職場では多くの人に親しまれ花が重々風に揺れやすい「ゆり」の様に

◇ 佳 作 ◇

今 野 きよし

年若き彼との出会いリラの花
栄転のはまれは高しあやめ花
耳鼻科医の近況聞きたし鯉のぼり
ナイチ記章胸に飾りて君子蘭

斎 藤 照 雄

山菜の宝庫と呼ぶ山茸の山
ふる里の母に似た女お茶を摘む
もう一度食べてみたいな蛍いか
当園の行事の一つ萩祭り



川 柳

雫 石 隆 子 選

◇ 入 選 ◇

今 野 きよし

《人位》
夏の雲寝顔に見えて流れ行く

【選 評】

雲は百態、いろいろの形に変化する。それが誰の寝顔とは書いていないが、暑い夏の日の鬱陶しさが流れる雲の寝顔になったのであろう。感性豊かな作者である。

《地位》 長 沼 蓮 花

さびしきとうれしきヒナが巣立った日

【選 評】

鳥であれ、人間であれ巣立ちを見守るうれしさに、やれやれと思いがらも寂しさを思う。一人前になって離れ行くものを思う心は、手間ヒマかけた慈しみが裏にある。

斎 藤 照 雄

《天位》
やがて実を結ぶこの木に水をやり

【選 評】

文字通りに結実を楽しむにやる水やり、また比喩的に目標を持つて成長する者への応援歌でもある。育ち行くものは眩しいほどに輝きを放っている。ヒューマンな作品である。

第36回 高松宮記念杯近隣親善ゲートボール大会

令和元年6月27日



選手宣誓

昨年優勝 鹿島台さつきチーム



今回優勝 一迫金田クラブチーム



新田 新生園チーム

いつかはとってみたい優勝カップを持つての記念撮影

◇ 佳 作 ◇

桜山南仙

君逝くや君の下書き無言なり
白赤に決めれば世界火の海か
四方八方目の向くところ花かざり

今野きよし

丈縮み横に伸びゆくわが体
新人に声をかけたし蟬の声
御中元何にしようか天の川

千歩

キンキンと蟬の鳴き声缶ビール
盆踊り西瓜切り分け父の愛
向日葵に御機嫌ようと会釈され

長沼蓮花

子の応援旅行気分で海渡り
まだ早いそつと戻した老眼鏡
遠のいた友より届く残暑見舞い

斎藤照雄

夢だけは抱いて行こうぜなあ影よ
ご飯もりもり夏負けなんて寄せつけず
大漁を知らせてくれたいわし雲

着任のご挨拶

副総看護師長 古川 喜美子

平成三十一年四月一日付で独立行政法人国立病院機構福島病院から移動になりました、古川喜美子と申します。福島県の郡山出身です。仙台から北への移動は初めてで、今回副総看護師長と言う立場での移動であり、毎日が学びの日々です。福島病院からは二年前に移動になりました栄養の柴田さんがおり、とても心強く思っていました。

ここで私のこれまでの看護師三十数年のお話しさせていただきます。三女であり、私ぐらい福島から離れていいんじゃないかしらと思い、看護学校は茨城県の国立病院の付属看護学校に入学しました。

そして就職は、これまた福島からもう少し離れ、埼玉県の国立療養所の病院に就職しました。今回の移動では、就職したての頃の懐かしい感覚を思い出しました。初めての勤務は整形外科と外科の混合病棟でした。パワフルな先輩方に仕事に人生にと教わるのがたくさんありました。就職したて頃の整形外科での術後の安静期間が今では考えられないくらいに長期でした。今思うとあの安静を強いる根拠は何だったのか思うばかりです。

その後は、術後の全身麻酔後の観察では心電図装着がされ、心電図が読めないといけないと思い、転勤を希望しました。それも東京でした。療養所からの転勤でしたので、かなりハングリー精神で勤務に望んでいました。東京でしたので、準夜後葉に都会の町にくり出すこともありました。仮眠もとらず深夜勤務をしたこともあり、都会での生活を満喫していました。七年後には終止符をうち、郡山

に戻りました。退職という形で、国立郡山病院に賃金職員と言う立場での転勤でした。現在の様にグループをまたいでの転勤と言うことが容易ではない時代でした。NICU（新生児集中治療）と小児科外来の行き来でした。国立郡山病院と国立療養所福島病院が統合し、間もなく独法となりました。

昇任で独立行政法人仙台病院に転勤となりました。呼吸器内科と神経内科の混合病棟でした。毎日毎日入院が多く、一日に多い時は七人も入院したことがありました。独法での経営に参画する事の大変さ・管理力が求められ、磨かれた四年間でした。どんなに帰りが遅くとも最終新幹線で自宅に帰り、また自宅から新幹線で通いました。その後は福島病院に戻り、殆どの病棟を一年から最長でも三年で移動していました。看護師経験三十数年の中で苦手としていた小児科の経験が長くなりました。看護学生時代の実習で、小児は思っ

たことを何でも素直に話す事から、苦手としていたのに、就職後小児科が一番長く携わるとは思いませんでした。

今回の異動では通勤はできませんので、一人官舎での生活です。一人暮らしはほとんどしたことがないので、仕事の大変さはありますが、一人気楽な所はあります。少しずつ生活にもリズムができてきました。

早くも、アツと言う間に三カ月が過ぎてしまいました。日々、また一カ月毎に学習を重ねているところです。まだまだ入所者の皆様の思いのところに近づけていませんが、巡視時にはお声をかけさせていただき、色々と教えて頂ければと思います。またスタッフの皆様のお力になれるよう努力していきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

最後になりましたが、先日の高松宮記念杯近隣親善ゲートボール大会では、ルールも基本も分からなく、第一ゲートがなかなか通ら

ず悩んでいたところ、久保会長さんとお話する機会があり、気持ちがとても楽になり日々の練習が楽しくなりました。また園にはチームジャージを作ること快く賛成して下さい、当日おそろいのTシャツを着た時にはチーム一体感が生まれました。他力でのゲームをくぐる事が多かったですが、まさにチームでのゲームであることを感じました。正に、看護課に求めているチーム力だと感じました。皆さん足手まといですみませんでした。



宜しく願います

看護師長 寺 嶋 美由貴

今年四月に第一メープル三階看護師長として赴任しました寺嶋美由貴です。国立療養所松丘保養園に採用になりましたのが、昭和から平成へと年号の変わる西暦一九八九年でした。

その後、岩手県花巻市、青森県弘前市、八戸市を経由し、十一年振りに松丘保養園に戻りました。松丘保養園では懐かしい入所者の方々と、たくさんの方々の行事を共に楽しみ過ぎて参りました。

この度、年号が平成から令和に変わった新たな時代に、東北新生園に勤務となりましたことを、何かの縁ではないかと思っております。

す。

松丘保養園の入所者の方々からは「東北新生園の入所者は、優しい方が多いので心配いらないよ。大丈夫だから頑張つてよ。」と激励の言葉を頂きました。その言葉は本当だとつくづく感じる今日この頃です。

津軽弁は早口で喧嘩をしているようだと言われます。津軽弁では、皆さんとのコミュニケーションは困難と思いますので、「えふり」（良いふり）をして話すように心掛けていますが、時々ボロが出ます。そんな時は聞こえないふりして下さい、願います。

園内の草木は手入れが行き届いており、三階からの眺望は見事でゆつたりとした気分になれます。

雪深い青森育ちの私は多少寒くても、雪片付けをしなくて済む冬を楽しみにしています。今後ともよろしく願います。

はじめまして

看護師 佐々木 清子

今年の四月より、第一メープル三階で勤務して居ります。よろしくお願い致します。

東北新生園には、看護学生時代に施設見学に来たことがあります、睦橋を渡り、睦ヶ池がとても美しく自然豊かで、園内にいくつかの宗教があつたり、郵便局があつたりと別世界感じたことを思い出しました。

三階から見える景色は、とても美しくそんな新生園で働けることをとても嬉しく思っています。

日々入所者の皆さんとお話することが、とても新鮮で沢山の学びをしています。ハンセンの歴史や新生園での暮らし、旅行したこ

の名物は団子ですね。近くにはガラスパークがあり、ガラス細工を見学することもできます。きれいなガラス細工が沢山あります。手作りのアイスクリーム屋さんもあり好評です。時間がありましたら、どうぞ厳美を堪能してください。

夜勤明けには「気を付けて帰りなさいよ」と、優しく声をかけてくださる入所者様のその言葉が、とても嬉しく私の元気の源になっております。

職員の皆様、入所者の皆様に、温かく迎えていただき感謝の念が堪えません。誠にありがとうございます。

四季折々変化する新生園を堪能しながら、入所者の皆様と大切な時間を共有し、有意義に過ごしていきたいと思います。まだまだ力不足で、皆様にはご迷惑をおかけしていることが多々ございますが、今後とも宜しく願い致します。

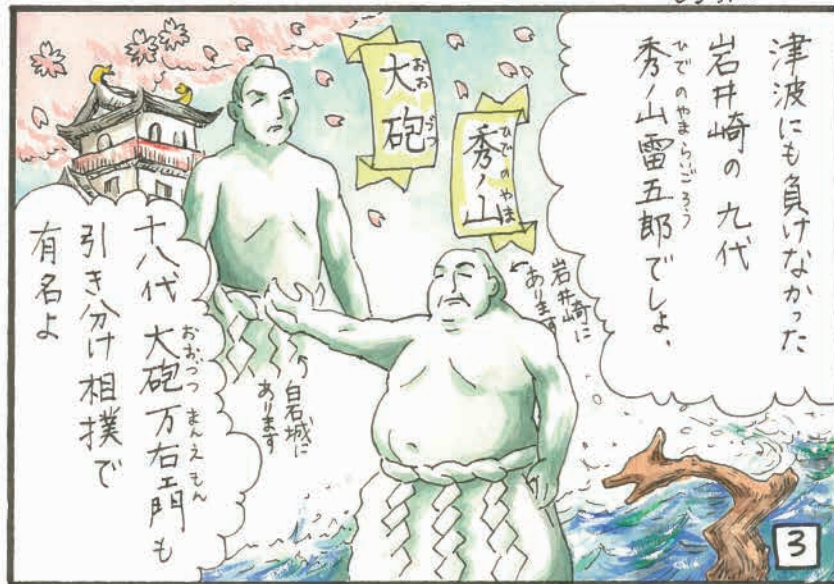


と、ゲートボールで活躍したことや、おいしい野菜を栽培し園内で品評会をしたことなど沢山のお話をさせて頂いています。私も少しばかり野菜作りをしているので、困ったときには入所者の先生に教えを頂いています。いつもありがとうございます。私の勝手ですが、困ったときには、今後とも教授頂きたいと思っています。

四月から勤務しているのですが、恥ずかしながら、いまだウオーキングマップの十二の名所一つもクリアしていません。新生園の職員として、新生園を知るためには、今年中にはすべてクリアしたいと考えています。入所者様にご協力を頂き、案内して頂こうと勝手に思っています。出来れば詩を二つ以上は作りたいと思っています。またここでも入所者の先生にご教授頂き作っていいこうと思っています。

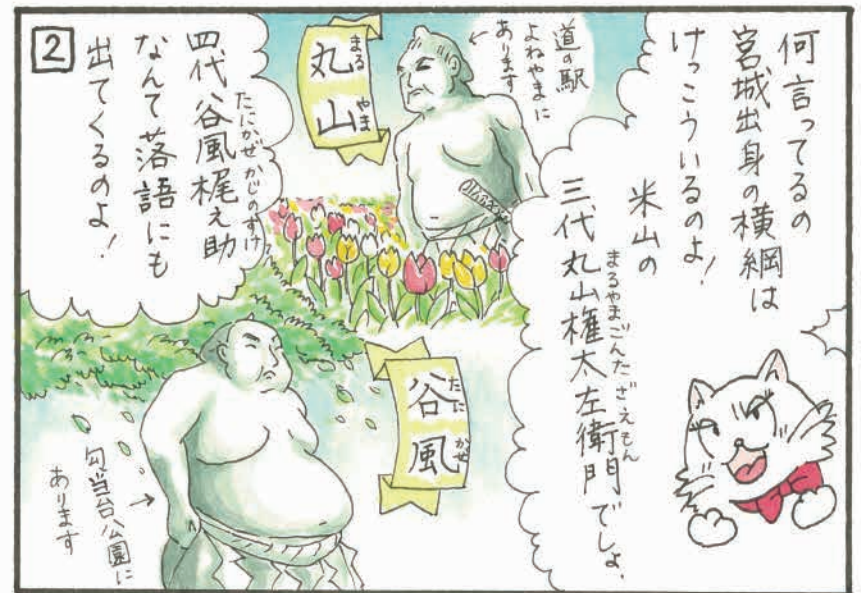
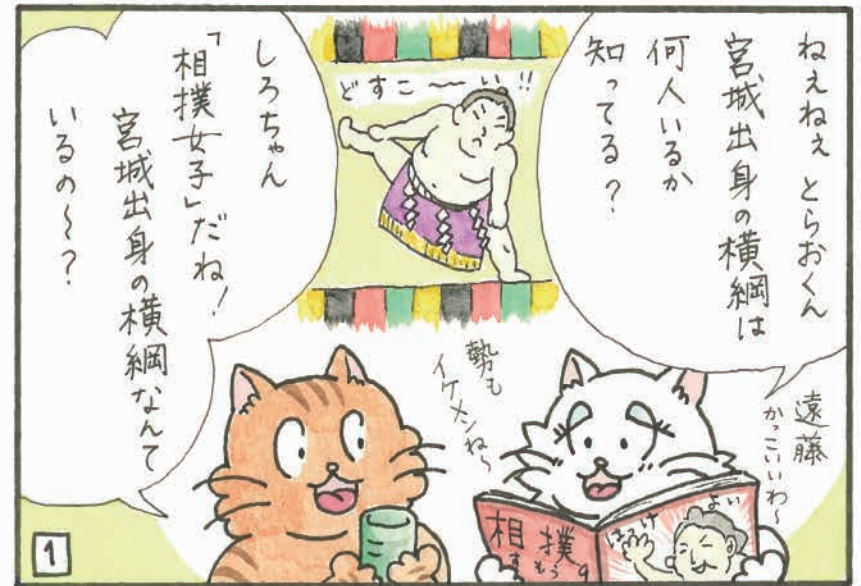
私は一関市厳美から通勤しています。厳美

北村小蝶



4コマまんが

おすもうさん





第21回
夏祭り花火大会
令和元年7月20日

